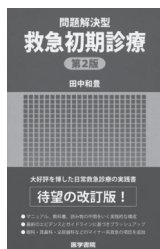


書評

【評者】
志賀 隆
東京ベイ・浦安市川医療セ
ンター救急部長



問題解決型救急初期診療 第2版

田中和豊 著

B6 変型判 頁 608 2011 年
定価 5,040 円(本体 4,800 円+税 5%)
[ISBN978-4-260-01391-8]医学書院刊

本書は、救急の現場の最前線で働く医師たちへぜひ
お勧めしたい本である。通常、救急の参考書・マニ
ュアル本は、複数の著者が執筆することが多い。本書は、
日本と米国において外科と内科の臨床の最前線で研修
をされ、さらに日本有数の教育病院である聖路加国際
病院、国立国際医療センター、済生会福岡総合病院に
て指導医として数多くの研修医を指導してこられた田
中和豊先生によって執筆されている。そのため、通常
はセクショナリズムに陥りやすい内科や外科の救急も
連続性をもって記載されている。一貫して現場で役立
つ本であることが意識されており、忙しい医師が求め
る事項が簡潔に記載されている。

本書を開くと、はじめに救急診療におけるプラクテ
ィカルな基本戦略が記されている。サッカーにたとえ
られた救急医としての診療姿勢は実にわかりやすい。
さらに、Osler の格言から始まり、救急の限られた時
間の中で問診と身体所見をどのようにして有効にとる
か著者の知恵が凝縮されて記述されている。これは救
急診療に初めて臨む研修医にとって非常によい導入で
ある。

各論に移ると、救急でよくみる主訴や問題について

プラクティカルに対応できるようにフローチャートが
使用されている。また、処方などの実際の対応も日本
の薬剤や分量になっていてすぐに応用することができ
るので、外国のマニュアル本と比べると非常に使いや
すい。救急では緊急手技や縫合などの基本的外科手技
が必須であるが、本書では多彩なイラストがあり、救
急で必須の手技が非常にわかりやすく記載されてい
る。さらに、第2版になって耳鼻科・眼科などのいわ
ゆるマイナー領域の対応もわかりやすく記載されてお
り、忙しい現場で働く救急部の医師がすぐに参照でき
るようになっている。

各論を読み終えた読者には、どのように臨床医とし
て勉強すべきかという 10 箇条のうれしい付録もつい
ている。また、変化する医療を取り巻く状況に対応で
きるように、法的事項、医学倫理、医療過誤などにつ
いて著者の解説とわれわれのすべき取り組みが記さ
れている。

以上より、本書はまず救急診療の初学者～中堅の医
師が現場で使い、さらに深みをもって成長してからは
後輩の指導にも生かすことのできる素晴らしい 1 冊で
ある。